

ミャンマーの政府関係者を対象とした防災研修を行いました（2019/3/29）

テーマ：災害マネジメント

場所：GAD training school（ミャンマー連邦共和国、ヤンゴン）

当研究所の村尾修教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）は、科学技術振興機構（JST）と国際協力機構（JICA）の支援のもと、日本と開発途上国の研究者による共同研究を支援する研究プロジェクト「SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム）」に採択されている、「ミャンマーの災害対応力強化システムと産学官連携プラットフォームの構築」に携わっています。その一環として、2019年3月29日、ヤンゴンのGAD研修スクールにおいて、東京大学生産技術研究所の目黒公郎教授らとともに、ミャンマーの政府関係者（General Administration Department）を対象とした防災に関する研修を行いました。

村尾教授は、「Urban Management for Disaster Risk Reduction」と題して、都市リスクや災害マネジメントの基本事項について講義しました。特に当該プロジェクトの建物グループで行っている、建物倒壊リスク評価手法とヤンゴンでの適応について説明し、今後の将来シナリオに基づく都市防災の戦略について話しました。

約150名の参加があり、講義後は防災対策についての活発な議論がなされました。これにより、現地の防災に対する意識向上に貢献することができました。引き続き、共同で課題解決に取り組んでまいります。



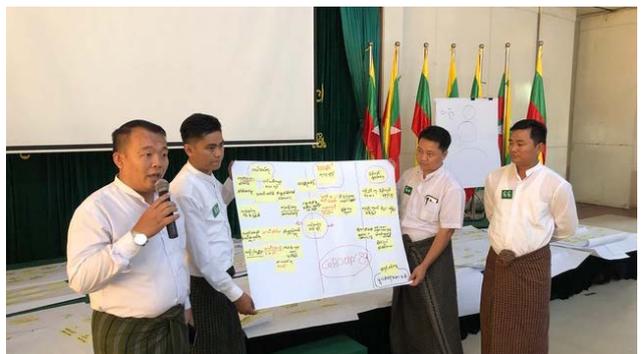
全体記念写真



村尾教授による講演



研修の様子



受講者によるプレゼンテーション